

事務事業名		渡良瀬川・利根川架橋促進協議会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	政策調整係	担当課長名	大木 聡	
	施策	1 都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 計画的な幹線道路ネットワークの整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1284	一般	2	1	7	渡良瀬川・利根川架橋促進協議会参画事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業					市単独事業				
		任意的事業・義務的事業					任意的事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H10年度～ 年度		根拠法令 条例等	各大学との地域連携協定					
	実施方法					直営					
	事業分類					その他内部事務事業					
リーディングプロジェクト						該当なし					
市長マニフェスト						該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
現在渡良瀬川及び利根川により阻害されている、佐野市、館林市、羽生市の広域的発展を図るために、新たな架橋を含む幹線道路の整備実現を目指す協議会を関係市町によって組織し、関係機関に対し要望活動を行う。			・幹事会への参加(5/19、10/15) ・総会(6/13) ・3県知事要望(群馬県10/10、栃木県10/30、埼玉県11/26)							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			要望活動数	回	3	3	3	3	3	3
			会議等出席回数	回	5	3	3	3	5	5
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会及び構成自治体 ②県、関係省庁等			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			要望活動数	回	3	3	3	3	3	3
			会議等出席回数	回	5	3	3	3	5	5
			関係県庁数	団体	3	3	3	3	3	3
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
①渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会の目的達成のため、関係団体と協力をしながら積極的に活動してもらおう。 ②県、関係省庁等に事業の必要性を理解してもらい、整備計画に位置付けてもらう。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			県等の整備計画箇所付け数	箇所	0	0	0	0	0	0
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
利用者が、安全、快適(短時間に、支障がなく)に移動できるようにする。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			道路網が整備され便利になったと思う市民の割合	%	79.4	80.1	84.5	85.0	85.5	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	55	53	55					
	事業費計(A)	千円	55	53	55	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			旅費	4	旅費	2	旅費	4		
			負担金	51	負担金	51	負担金	51		
人件費	人	3	3	3						
のべ業務時間	時間	40	40	40						
人件費計(B)	千円	156	158	158	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	211	211	213	0	0				

事務事業名	渡良瀬川・利根川架橋促進協議会参画事業	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課	担当係	政策調整係
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	渡良瀬大橋から栃木市(旧藤岡町)の新開橋までの間、渡良瀬川にかかる橋がなく、交通の阻害要因になっていたことから平成5年、新渡良瀬大橋架橋促進研究会を佐野市、館林市、板倉町で立ち上げ平成8年羽生市、明和町が加入し、利根川・渡良瀬川を含む架橋の建設により広域交通網の整備を目指し関係機関に対する要望活動を始めた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	人口の減少、少子高齢化、厳しい財政状況等により、架橋整備を伴う新規路線の個所付けの環境は厳しさを増している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成22年2月 栃木県議会 「…渡良瀬川に新しい橋をかけるという大きな構想ではありますが、市南部地域のまちづくりとの一体的な取り組みの大きな柱として、地元植野地区住民も大きな期待を寄せているところであります。…」平成22年6月 佐野市議会 「…佐野市水質浄化センター付近などなど、その他を含む動線が欠落している部分の基盤整備などの計画についてお聞きをいたします。」

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	佐野市としての基本方針の策定に至っていないため、市内部の関係課打ち合わせを開催し、橋の建設だけでなく、南部地域の振興策も含めた基本方針を策定する必要がある。 協議会の負担金については、平成21年に削減したため、コストは変わらない。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	新橋を含む幹線道路の建設を実現するために、県等に対し要望を行い、県又は国の計画に個所付けられることは、交通網を充実させて、市内外との交流を活性化する目標に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	幹線道路の整備・新橋の建設は公共事業によるものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	妥当であるが、より成果を上げるため、環境変化や社会的役割について継続して検討する必要がある。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	成果向上に向けて、協議会の活動をより充実させていく必要がある。 ①渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会の目的達成のため、関係団体と協力をしながら積極的に活動してもらう。 ②県、関係省庁等に事業の必要性を理解してもらい、整備計画に位置付けてもらう。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	平成21年に負担金の削減を行なった。引き続き協議会の活動と負担金のバランスを考慮し適正化を働きかける必要がある。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	協議会参画の内部事務であり、受益と負担は特定されない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	事業化に向けた個所付けすることができた場合、また、事業化困難と判断し協議会を解散することになった場合、廃止することができる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
<p>* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②…と記入します。現状維持の場合は記入しません。)</p> <p>①事業活動の内容も含め関係市町と協議していく。 ②佐野市としての基本方針を確立し、計画を位置づける。</p>	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持		×	低下	×	×	<p>現在の要望活動が県又は国の計画への位置づけに結びつかは、県・国の財政的な問題もあるのでたいへん厳しい状況にある。本市としては、南部地域の振興策を検討するなかで橋・幹線道路建設事業の効果を訴え、協議会をとおして栃木県、群馬県、埼玉県等の前向きな取組みに期待し要望活動を行っていく。</p>
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	